

(泉 健太)推薦人一覧

2024年9月7日

人数	氏名	衆・参議員の別	選管記入欄
1	石橋 通宏	参	
2	大島 敦	衆	
3	大西 健介	衆	
4	小熊 慎司	衆	
5	鬼木 誠	参	
6	川内 博史	衆	
7	城井 崇	衆	
8	古賀 之士	参	
9	柴 慎一	参	
10	杉尾 秀哉	参	
11	田名部 匡代	参	
12	徳永 エリ	参	
13	道下 大樹	衆	
14	緑川 貴士	衆	
15	村田 享子	参	
16	森本 真治	参	
17	森山 浩行	衆	
18	吉田 統彦	衆	
19	米山 隆一	衆	
20	渡邊 周	衆	
21			
22			
23			
24			
25			

「人へ 未来へ まっとうな政治へ」 前へ進もう (Go Forward)

国民の命と暮らしを守るため、そして我が国の発展のため、この3年間、ともに汗をかいていただいた全国の皆様に心から感謝申し上げます。

私は前回の代表就任から、「必ず立憲民主党を再生させる」「必ず次期総選挙で勝つ」との決意で職務に邁進してまいりました。ここまで様々な困難がありましたが、今年4月の衆院補欠選挙の3勝利は、まさに皆様との粘り強い党勢回復の努力が結実した戦いでした。

さて、この代表選の直後には、すぐに一大決戦となる総選挙が控えています。我々は今、決断せねばなりません。総選挙を直前にした執行部の刷新には、現状把握、政策発信、など多くの点での負担や混乱を覚悟せねばなりません。これは危険な賭けです。

政権交代への闘いは既に始まっています。私はこの総選挙に向け、誰が自民党総裁であろうとも闘う準備をしています。総選挙は現体制で闘い抜く。これは党としての最適な対処法です。

政策について。私たちは皆で「人へ 未来へ まっとうな政治へ」を訴えよう。選挙前の新たな言葉が国民に広がるでしょうか。「何か気の利いたフレーズを」と求め続けても、支持は広がらない。これまで訴え続けてきたスローガン、政策を心を込めて総選挙で訴えるべきです。私たちは「人へ（「教育無償化」「非正規の正規化）」「未来へ（環境・医療・農業・観光・デジタル市場の拡大）」「まっとうな政治へ（政治改革）」を訴えよう。全員が、本気で、全力で訴える。それこそが勝利への道です。

他党連携。現執行部は各党と良好な関係を築いてきました。今後も最大限の努力を続けます。しかし私たちが最も重視すべきは、立憲民主党自身の党勢拡大によって議席を増やし政権交代を果たすこと。選挙前の足し算では成功しないでしょう。まず私たちが自らの政策、姿勢を選挙区で伝えよう。それこそが勝利への道です。

政権交代の一案は「ミッション型内閣」です。我が党が単独政権樹立に至らなかった際には、他党と合意できる政策を協議し、新政権の「ミッション（使命）」として実現を目指します。政治改革はもちろん、国民のためになる教育無償化、物価対策などを必ず推進しようではありませんか。

総選挙はもうすぐです。仲間にも恵まれ、全国の同志に支えられて、私はここまで代表を務めることが出来ました。私は立憲民主党をさらに強くします。皆様に心から感謝申し上げ、日本を伸ばすために総選挙に勝利します。皆様のご賛同をお願い申し上げます。

総選挙に向け、すぐやる！

① 総力結集 ② 総支部支援 ③ キャンペーン ④ 重要政策 ⑤ 候補者擁立 ⑥ 党運営

① 総力結集

今回の代表選候補の皆様をはじめ、党の顔になる方々に、総選挙の最前線で活動していただきます。党全体による結束した戦いで総選挙を勝利します。

② 総支部への支援

選挙区で自民党を上回るべく、総支部の選挙準備を加速させる交付金を前倒しします。

③ 「人へ 未来へ まっとうな政治へ」キャンペーン強化

政策やスローガンは、普段から本気で私たちが取り組む内容との一致が不可欠。

次期総選挙のスローガンは「人へ 未来へ まっとうな政治へ」とする。「人へ（「教育無償化」「非正規の正規化）」」「未来へ（環境・医療・農業・観光・デジタル市場の拡大）」「まっとうな政治へ（政治改革）」を全国各地で、全力で訴えます。

安定した政権運営を行うことを旨に、外交・防衛の「外交安全保障戦略の方向性」金融の「新しい金融政策に向けて」エネルギーの「立憲民主党のエネルギー政策」農業の「農林水産政策大綱」リスキングの「もっとよい学びなおしビジョン」なども、ビラやネットを活用し浸透を図ります。

④ 重要政策

税制は、失われた30年で続いてきた格差拡大、所得税・法人税減税と消費税増税に着目し、税制全体での格差是正、再分配機能を立て直します。富裕層の所得税、高額金融所得課税、法人税の見直し、また消費税について、給付付き税額控除、景気低迷時の時限的税率引き下げ、食料品の税率引き下げなどを選択肢として検討します。

憲法については、緊急事態条項などにおいて、参議院のあり方や現行制度の機能や限界など個別の論点と課題も山積していることから、引き続き議論を続けていきます。

⑤ 候補者擁立

3年前、まずは150人の候補者擁立を目指し、次は候補者を増やし、「150議席獲得」を必達目標とし、今年2月の党大会では「200人の候補者擁立」「自公過半数割れ」「比較第一党へ」を目標に掲げました。現在総選挙の予定候補者は190人台に達しました。今後、候補者擁立目標を単独過半数の233人に上方修正します。来年の参院選に向け、選挙区比例区ともに候補者擁立を進めます。

⑥ 党運営(ネット対策強化、登用のあり方、次期代表選の推薦人規定)

ネット対策部局を独立させ、必要な予算を確保します。党全体のSNS発信の活性化を図ります。党役職への登用は、選挙区での強さ、党員集めなど党への貢献度を尊重し、党内グループに関

係なく登用します。次期代表選までに、代表選規定における推薦人要件を「党所属国会議員の 1 割。(200 人超の場合は最低 20 人)」に変更します。

[政策の骨格]

基本コンセプト 「日本を伸ばす」

選挙スローガン 「人へ 未来へ まっとうな政治へ」

「成長 VS 分配」ではなく、立憲民主党は、人への投資、産業の育成、消費の活性化、に前向きに取り組む政党であることを訴えます。

効率主義、規模主義に頼らず、中小零細の担い手、地域経済を大切にし、「持続可能性」と「人」を重視します。

安心して新政権をお任せいただけるよう、6つの重要分野に取り組みます。

「国産化」エネルギー自給率・食料自給率の向上

「格差是正」税制による格差是正・消費減税は選択肢の一つ

「堅守防衛」平和を守る対話外交・現実的な防衛力整備

「教育無償化」給食費無償化、学費の負担軽減

「生活向上」賃上げ・介護保育分野などの処遇改善

「安心社会」防災対策・治安対策・社会保障サービスの整備

※その他のジェンダー、人権、憲法、をはじめとした各政策は、現職党代表として作成してきた党の政策を訴えてまいります。



衆議院議員 泉 健太 (50歳)

《現在の役職》

【政 党】 立憲民主党 代表

【衆議院】 国家基本政策委員会 委員

《選挙区》

京都府第3区（京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町）

1974年7月29日	北海道札幌市生まれ
1998年3月	立命館大学法学部卒
1998年7月～2000年3月	参議院議員 秘書
2000年3月～	民主党京都府第3区総支部長
2000年6月	衆議院総選挙に初出馬、次点惜敗
2003年11月	衆議院総選挙、初当選、現在8回連続当選
2009年9月～10年9月	内閣府・大臣政務官（鳩山内閣、菅内閣）
2013年9月～16年3月	民主党・国民運動委員長
2016年9月～17年9月	衆議院・議院運営委員会筆頭理事
2017年11月～18年5月	希望の党・国会対策委員長
2018年5月～9月	国民民主党・国会対策委員長
2018年9月～20年9月	国民民主党・政務調査会長
2020年9月～21年11月	立憲民主党・政務調査会長
2021年11月～	立憲民主党・代表

【所属する主な超党派議員連盟】

過労死等防止について考える議員連盟 会長代行
食品ロス削減及びフードバンク支援を推進する議員連盟 会長代行
共同養育支援議員連盟 会長代理
全国災害ボランティア議員連盟 副会長
学童保育の抜本的拡充を目指す議員連盟 幹事長
自転車活用推進議員連盟 会長代理
チャイルドライン支援議員連盟 副会長
子どもの未来を考える議員連盟 副会長
自然災害から国民を守る国会議員の会 副会長
ハンセン病問題の最終解決を進める国会議員懇談会 事務局次長
日本・ウクライナ友好議員連盟 副会長

◆妻、長女、長男、次女、うさぎ1羽。京都市伏見区在住

◆趣味は料理、DIY、自転車、アウトドアなど